

編集後記

前号(第10号)の発行から4年半が経過し、何とか第11号の発行にこぎつけることができました。この4年の間に、2001年10月にスタートした中国帰国者支援交流センター(御徒町)の“生涯学習”支援システムも、ようやくその骨格に血肉を備えた実体として機能するようになったという実感があります。この歩みは、当センター(所沢)との連携協力のもとに進められました。『紀要』第11号は、われわれのこうした歩みの記録として、所沢のものだけではなく、御徒町からの報告も掲載しています。そして今後も、所沢、御徒町、二つのセンターの「実践と研究」の記録として機能させていきたいと考えています。

このような趣旨から、第11号では、巻末の「あゆみ」と「統計」に、御徒町のものも併せて掲載しています。御徒町の「あゆみ」では、高齢化が進む孤児世代を対象とするサロン／交流活動を含めた“生涯学習”支援活動について、そしてその支援者に対する支援活動について、また、広く地域社会に対して一般市民の理解と新たな支援者を求める研修会開催等の活動について、その概要を紹介しています。こうした活動の中心となる日本語遠隔学習課程(通信教育)の受講生は、2006年4月に在籍者数1000人を超え、現在(2007年10月)1300人に迫ろうとしています。今号の「統計」では、初めて、こうした“生涯学習”受講生についても、在籍者数の推移、年齢層や全国分布の状況等について集計したものをグラフにまとめましたので、ぜひご覧ください。

紀要編集委員一同

中国帰国者定着促進センター

紀要 第11号

発行 : 2007年 10月 30日

編集者 : 中国帰国者定着促進センター

教務課 紀要編集委員会

TEL 04(2993)1660 FAX 04(2991)1689

メールアドレス kyohmuka@kikokusha-center.or.jp

ホームページアドレス <http://www.kikokusha-center.or.jp>

発行者 : 財団法人 中国残留孤児援護基金

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-5-8

オフィス虎ノ門1ビル

TEL 03(3501)1050